

●プロジェクト申請の概要

新潟県カーボンオフセットパビリオンチーム

1. プロジェクト名

『阿賀悠久の森』間伐プロジェクト

2. プロジェクトの種類（期間）

間伐促進型プロジェクト（2008年4月1日～2013年3月31日）

3. 申請者

阿賀町（代表事業者）

4. プロジェクトの目的と内容

阿賀町は町土の94%を森林が占めており、この広大な森林資源を健全な状態で維持・管理し、永続的かつ有効に活用することを目指している。

『阿賀悠久の森』間伐プロジェクトは、この基本理念のもとに『千年先の森づくり』を実践するため、町が所有するスギ人工林（町有林等）を対象に適切な間伐を実施し、森林を健全な状態に回復させるものである。

また、これにより増大する温室効果ガス吸収量から「オフセット・クレジット」を創出し、その収益により森林整備の推進や木質バイオマスの利用の促進を図ることとしている。

※町は平成22年3月に「阿賀町バイオマスタウン構想」を策定しており、間伐材は用材として利用するほか、ペレットなどの木質バイオマスの利用促進につなげることとしている。

5. プロジェクト実施地の状況

- ・場 所…新潟県東蒲原郡阿賀町（3箇所の森林施業計画の区域）
- ・間伐面積…108ha

○年度別実施計画

（単位：ha, t-CO2）

年 度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	合計
間伐面積	16	8 (24)	11 (35)	30 (64)	32 (96)	12 (108)	108
CO2吸収量	-	245	335	629	940	1,069	3,218

※間伐面積下段括弧書＝累積面積

- ・プロジェクト実施地の状況（ベースラインシナリオ）
- …プロジェクト対象森林内のスギ人工林は、現時点で過密状態、若しくは今後において過密状態となるため、適切に間伐を行うことが必要な状況にある。

6. プロジェクトの実施方法（間伐作業の基準と実施方法）

(1) 間伐作業の基準

間伐作業は、下記の「間伐の標準的な基準」に基づいて実施する。

間伐の標準的な基準

項目	方法・基準
伐採率	30%程度
方法	定量間伐
間伐実施間隔	5～15年
仕立て	長伐期（大径材）

※ 上記を標準とし、林の状態や立地環境により実施で微修正する。

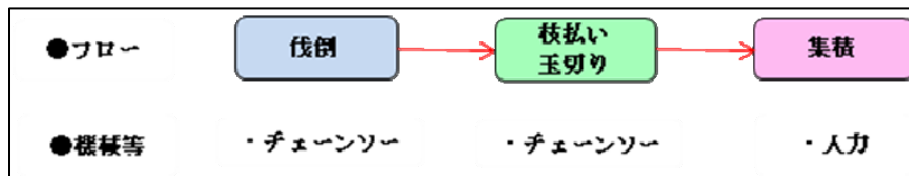
(2) 間伐作業の実施方法

間伐作業は、これまではチェーンソーと人力で行っていたが、今後は機械化による間伐作業システムを推進し作業効率を高めていく。

また、間伐材は用材として利用するほか、端材・残材はペレット等に加工し、木質バイオマスとして有効利用を図るなど、「利用間伐」を推進していく。

※H19～21年度の間伐面積 33.72haのうち、利用間伐は5.23haで約16%の利用にとどまっている。

間伐作業の流れ
(現状)



(推進する間伐作業システム)

